

プロジェクト 全体像



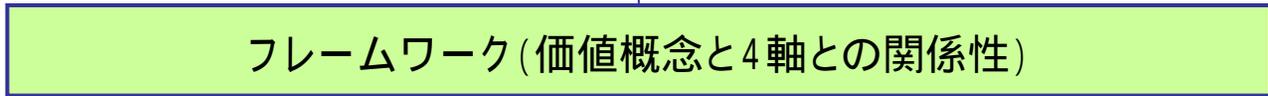
図 1



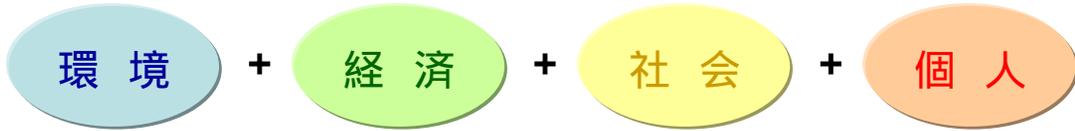
日本固有の事情の考慮



(4つの持続可能性)

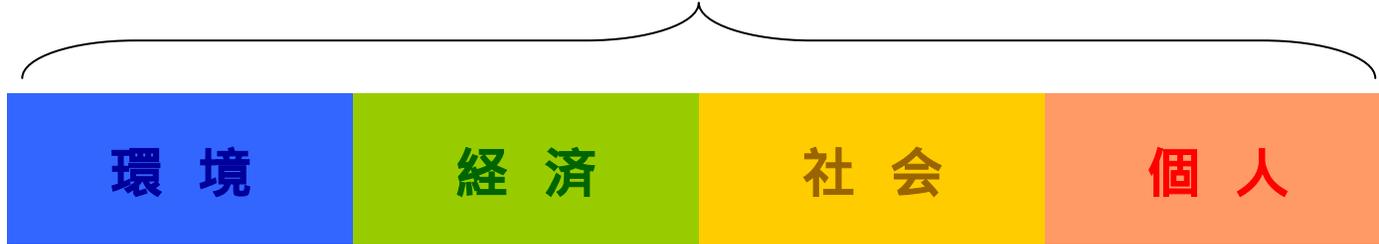


(システム/フレーム)



4カテゴリ × 各5ヶ=20指標
による持続可能性の測定

指標の選別/スクリーニング



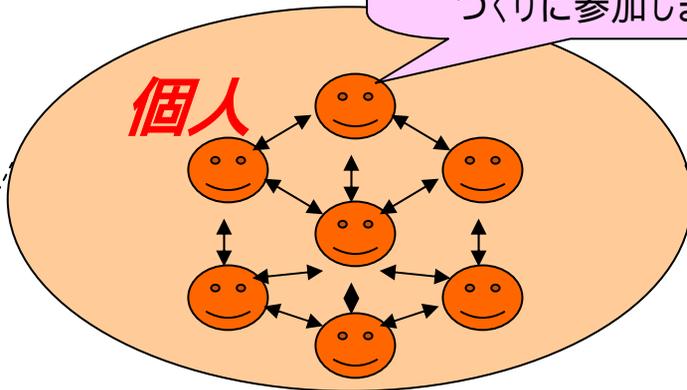
4つのカテゴリと
20のサブカテゴリ



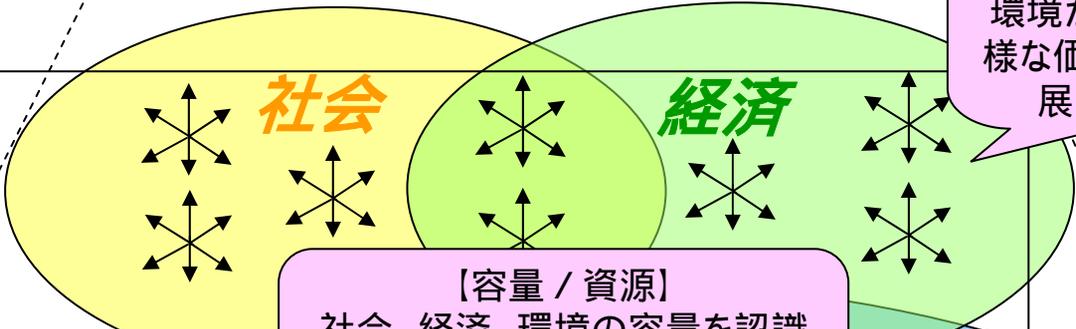
JFS 持続可能性のフレーム

図2

【参加とつながり】
個人が意志を持って社会
づくりに参加します。



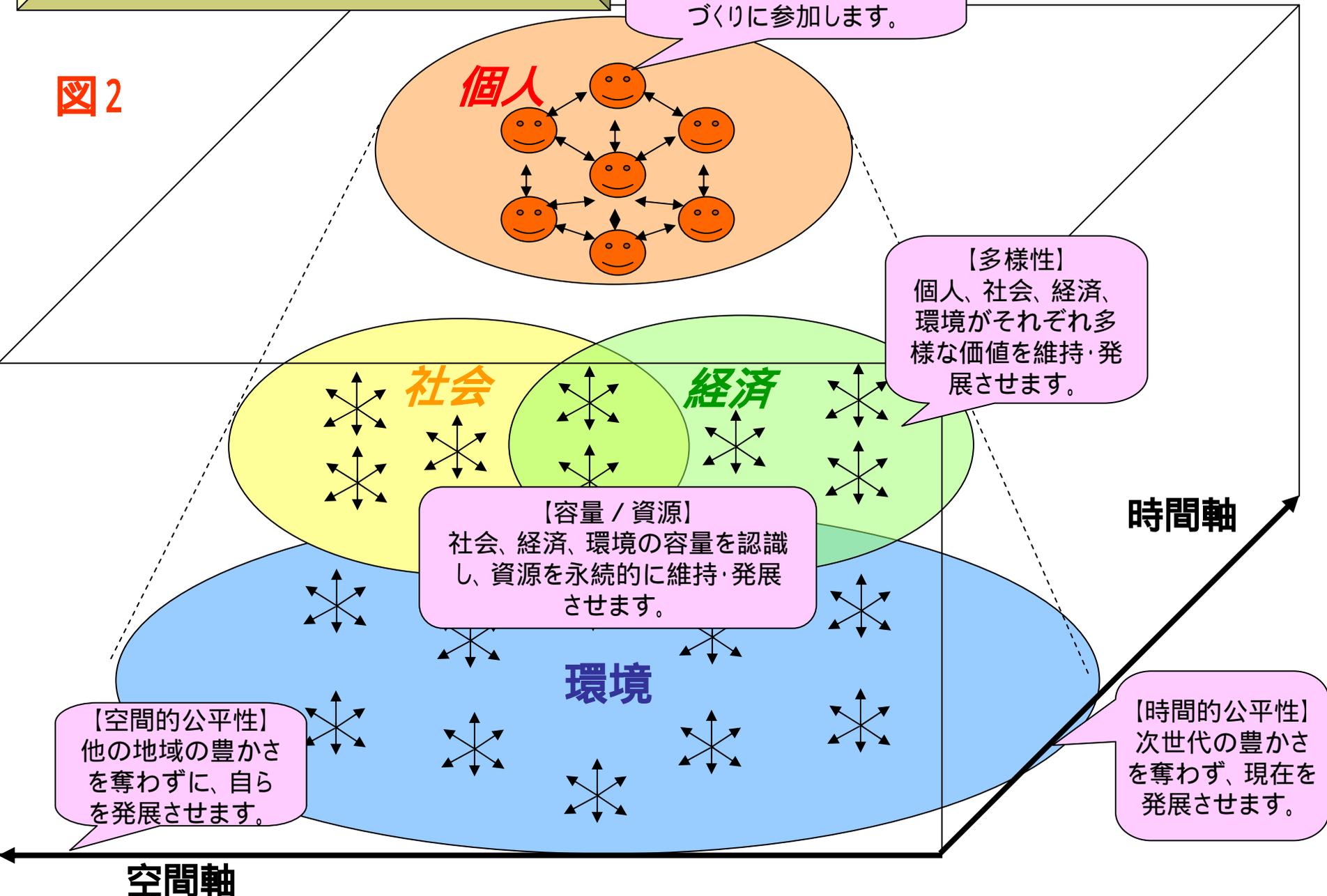
【多様性】
個人、社会、経済、
環境がそれぞれ多
様な価値を維持・発
展させます。



【容量 / 資源】
社会、経済、環境の容量を認識
し、資源を永続的に維持・発展
させます。

【空間的公平性】
他の地域の豊かさを
奪わずに、自ら
を発展させます。

【時間的公平性】
次世代の豊かさを
奪わず、現在を
発展させます。



5つの持続可能性要件と4つのカテゴリー


 図3

	1) 資源・容量	2) 世代間公平性	3) 地域間公平性	4) 多様性	5) 意志とつながり
A) 環境	資源循環・廃棄物 水・土・空気	温暖化	温暖化	生物多様性	環境教育
B) 経済	エネルギー 資源生産性 食糧	財政	食糧 国際協力	エネルギー	国際協力
C) 社会	安全	伝統・文化	モビリティ	ジェンダー・ マイノリティ 伝統・文化	社会責任投資
D) 個人	心身の健康	生活格差	生活格差	市民参加	生活満足 学力・教育 心身の健康 市民参加

JFSによる持続可能性フレームワークと20の指標

© JFS

4軸	持続可能な目指すべきモデル	サブカテゴリー	ヘッドライン指標	持続可能性の価値概念との相関	指標の種類
N) 環境	<ul style="list-style-type: none"> 人と自然の共生 「風土」の概念 多様な生態系と在来種の保全 自然修復 自然循環の重視 里山、鎮守の森 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 生物多様性・森林 2) 温暖化 3) 資源循環・廃棄物 4) 水・土・空気 5) 環境教育・システム 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 絶滅に瀕しているワシタカ類の種の割合 2) 一人当たり温室効果ガス排出量(年間) 3) 1人1日あたりのごみ総排出量 4) 化学合成農薬の投入量(露地野菜、10aあたり) 5) グリーンコンシューマの割合 	多様性 世代間公平性 資源・容量 資源・容量 意志とつながり	状況 負荷 負荷 負荷 変革
E) 経済	<ul style="list-style-type: none"> 自立型経済体制 分散型自給経済 環境効率 資源生産性 伝統と先端技術 地域振興 国際貢献 	<ol style="list-style-type: none"> 1) エネルギー 2) 資源生産性 3) 食糧 4) 財政 5) 国際協力 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 再生可能エネルギー・リサイクル型エネルギーの割合 2) GDP / 天然資源等の投入量 3) カロリーベースの食料自給率(供給熱量総合食料自給率) 4) 一般政府の債務残高(対GDP比) 5) 国民総所得(GNI)における援助額の割合 	資源・容量 資源・容量 地域間公平性 世代間公平性 意志とつながり	変革 変革 状況 負荷 変革
S) 社会	<ul style="list-style-type: none"> スローライフ 自然に生かされる 相互の助け合い 機会の平等 地域文化 相互交流 コミュニティ活性 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 安全 2) モビリティ 3) ジェンダー・マイノリティ 4) 伝統・文化 5) 社会に配慮した投資 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 一般刑法犯発生率(人口10万人あたりの発生件数) 2) 15歳以上の自宅外通勤・通学者の利用交通手段に占める「自転車だけ」の割合 3) 国会の議席数に占める女性の割合 4) 伝統的工芸品の生産額 5) SRI型投資信託の総投資信託純資産残高に占める割合 	資源・容量 地域間公平性 多様性 多様性 意志とつながり	負荷 状況 状況 状況 変革
W) 個人	<ul style="list-style-type: none"> 笑顔 自由と市民参加 能力開発、成長 倫理涵養 健康で安全 天職 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 生活満足 2) 学力・教育 3) 市民参加 4) 心身の健康 5) 生活格差 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 現在の生活に満足している人の割合 2) OECDによる学習到達度調査(PISA) 1日の余暇時間に占めるボランティア・社会参加活動への参加時間の割合 4) 自殺死亡率(人口10万人あたりの自殺数) 5) 生活保護率 	意志 意志 意志、多様性 資源・容量、意志 世代間公平性、地域間公平性	状況 状況 変革 状況 状況